

平成26年度 甲冑師 熱田伸道活動報告

《平成26年》

- 1 4月18日(金) 山形県鶴岡市松ヶ岡、新徴屋敷にて荘内藩甲冑研究会(理事長
~28日(月) 荘内神社宮司石原純一)の事業、甲冑制作教室18名参加にて熱
田伸道氏甲冑制作指導実施。本年度喉輪、板佩楯、鎧立制作始め
る。
- 2 5月16日(金) 鶴岡市松ヶ岡新徴屋敷にて5班18名にて喉輪型紙作成、アルミ
~26日(月) 板切り出し、ヤスリがけ(バリ取り)その他胴甲・草摺組立指導。
- 3 6月13日(金) 鶴岡市松ヶ岡新徴屋敷(江戸幕末の武家屋敷・文化財)甲冑
~23日(月) 工房にて18名参加、喉輪穴あけ、叩き(形づくり)、胴甲組立
制作(糸威)指導。
- 4 7月11日(金) 鶴岡市松ヶ岡新徴屋敷甲冑制作工房にて5班18名の参加にて喉
~21日(月) 輪部位穴あけ、叩き、捻り返し、下地塗り指導。
- 5 7月27日(日) 甲冑工房おがわにて、甲冑師熱田伸道氏解説による「甲冑の記録
方法(兜・面具編)を開催。福戸亮監査役所蔵の仙台具足から
兜・面具について各部位、名称の解説を行う。9名参加
- 6 8月8日(金) 山形県鶴岡市松ヶ岡新徴屋敷荘内藩甲冑工房に於いて5班18
に
~18日(月) て、板佩楯型紙作成、及びアルミ板切り出し。
喉輪の磨き、糸威制作指導。
- 7 8月15日(金) 山形県鶴岡市荘内大祭(御祭神 初代忠次公、二代家次公、三代忠
勝公、九代忠徳公)に於いて35名の甲冑武者行列・出陣式をプロ
デュース。雨天の為鶴ヶ岡城周囲市内1キロに縮小し行進。甲冑
武者隊啓発。
- 8 9月12日(金) 山形県鶴岡市松ヶ岡新徴屋敷荘内藩甲冑工房にて18名参加にて
~22日(月) 板佩楯穴あけ、切り出し、叩き、ヤスリ懸け、喉輪糸威し・絵
章・組立制作指導実施。
- 9 9月28日(日) 愛知県西尾市歴史公園内近衛邸にて、(一般社団法人)日本甲冑
武具研究保存会東海支部10名にて、来場者対象無料甲冑試着体
験実施。(大人具足4領、子供具足3領にて80名参加)
- 10 9月12日(金) 山形県鶴岡市松ヶ岡、新徴屋敷荘内藩甲冑制作教室18名参加に
~22日(月) て、佩楯塗り、糸威し、組立指導
- 11 10月5日(日) 名古屋市栄中日文化セターにて熱田伸道氏、鉄製にて甲冑制作教
室始め本期は置袖(中袖)から籠手(篠籠手)の予定。

(平成26年10月～平成27年3月迄、毎月2回9名の参加を得、制作指導実施。

- 12 10月10日(金) 鶴岡市松ヶ岡新徴屋敷にて18名参加荘内甲冑制作教室制作指導
～13日(月) 喉輪・佩楯・鎧立制作指導。未完成については、通信教育(メール)にて12月中半まで指導する。
- 13 10月19日(日) 鶴岡市荘内神社参集殿にて第1回新作甲冑展示会を実施。
三年間で制作した甲冑、及び熱田伸道氏制作甲冑を含め22領展示それぞれ制作者の解説。他、甲冑着付け次第、酒田市松山伝承館館長平向興市雄氏に「曲がり錐形兜・烈勢頬」(推定復元)寄贈。教室支援いただいた荘内銀行様にクジャクの羽形兜・面具寄贈。最後に『甲冑制作と戦国イベント』のお題で講演・式典を行う。
- 14 10月26日(日) 愛知県犬山市「秋のお城まつり」犬山城戦国武将物語を甲冑師熱田伸道氏プロデュース。一般社団法人日本甲冑武具研究保存会東海支部・犬山市民を中心に350名の参加を得、甲冑武者行列、武将顕彰出陣式、火縄銃演武、小牧・長久手の合戦を再現。終了後犬山城に登城し成功と来年の再開を近い勝どきを挙げる
- 15 11月21日(金) 東海テレビ「外国人のための名古屋紹介ビデオ」甲冑工房おわにてクリス・グレン解説の下、総見院所蔵の織田信長の焼け兜を推定復元次第を実施。甲冑談義をおこなう。
最後に甲冑を身に着け殺陣を二人で披露。撮影協力を行う。
- 16 11月23日(日) (一社)日本甲冑武具研究保存会東海支部月例会、8名参加にて甲冑工房おがわにて「甲冑の記録の方法」を実施。
甲冑師熱田伸道氏による仙台具足から胴甲・袖について各部位名称の解説を行う。
- 17 12月14日(日) (一社)日本甲冑武具研究保存会東海支部月例会を甲冑工房おがわにて14名参加『織田信長と神宮』のお題で作家・郷土史家の服部徹先生の講演を行う。
講演終了後忘年会を実施。

【平成27年】

- 18 2月22日(日) (一社)日本甲冑武具研究保存会東海支部月例会を甲冑工房おがわにて甲冑師熱田伸道氏による『甲冑の記録方法』仙台具足から三具の部位名称の解説を実施。12名参加。